

【概要版】
香取市公共施設等総合管理計画（素案）



平成 28 年 1 月
千葉県香取市

香取市公共施設等総合管理計画【概要版】

目 次

ページ

1. 公共施設等総合管理計画とは	1
1) 計画の背景と目的	1
2) 計画の位置づけ	1
3) 対象施設	2
2. 公共施設等の現況及び将来の見通し	3
1) 公共施設等の状況	3
2) 総人口や年代別人口についての今後の見通し	4
3) 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等	5
3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	6
1) 計画期間	6
2) 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策	6
3) 現状や課題に関する基本認識	6
4) 数値目標の設定	6
4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	7
1) 調査及び点検等の実施方針	7
2) 維持管理、修繕及び更新等の実施方針	7
3) 安全確保の実施方針	7
4) 耐震化の実施方針	7
5) 長寿命化の実施方針	7
6) 統合や廃止の推進方針	8
7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	8
5. フォローアップの実施方針	8
6. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	9

1. 公共施設等総合管理計画とは

1) 計画の背景と目的

本市の公共施設は、その多くが昭和 40 年代から 60 年代にかけて整備されていることから、現在では老朽化が進み、近い将来一斉に更新時期を迎えるものと見込まれます。また平成 18 年の市町村合併により、類似施設の重複も多く見受けられる状況となっています。

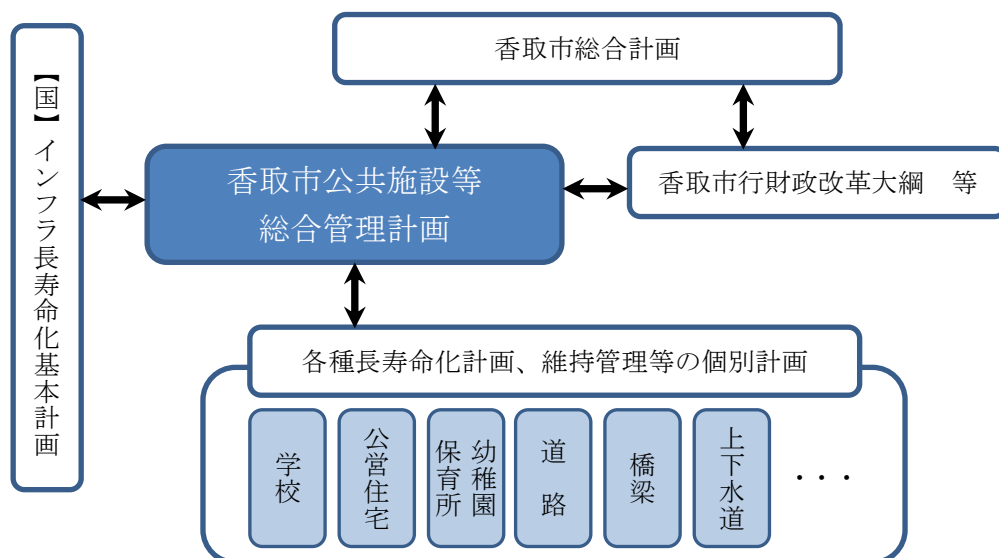
今後、市の財政状況が厳しさを増すとともに、少子高齢化や人口減少など社会環境の変化も加わり、今ある公共施設等を現状規模のまま維持管理していくことは極めて困難です。

これを踏まえ、本計画は長期的な視点をもって公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うことで、将来の財政負担を軽減、平準化することを目的としています。

2) 計画の位置づけ

国においては、公共施設等の老朽化が急速に進展することへの対応として、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。このなかで地方公共団体に対しては、公共施設等の維持管理・更新等を着実に推進するため、中長期的な取り組みの方向性を明らかにする「行動計画」の策定を求めており、本計画がこれに該当します。

本計画は、今後の各施設の個別計画の指針となるとともに、本市の最上位計画である「香取市総合計画」の下位計画となり、「香取市行財政改革大綱」などとの連携を図り、各施策や事業目的における公共施設等の役割や機能を踏まえた横断的な役割を果たすものとなります。



【対 象 施 設】

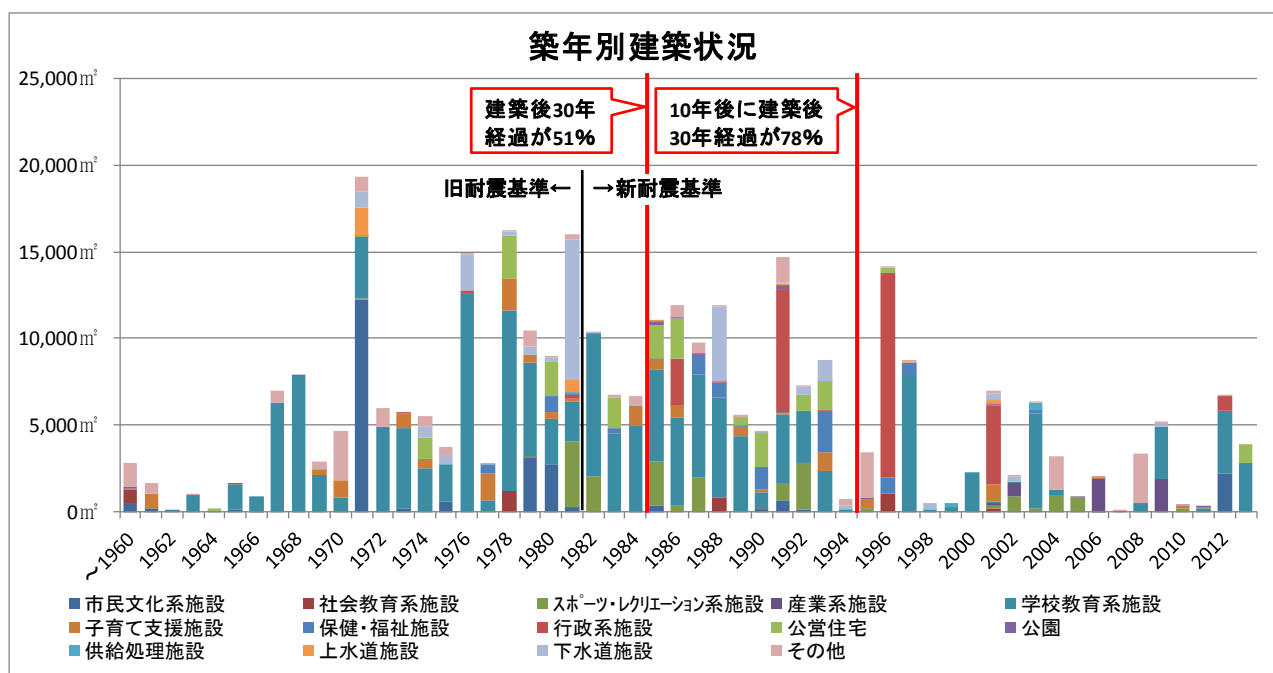
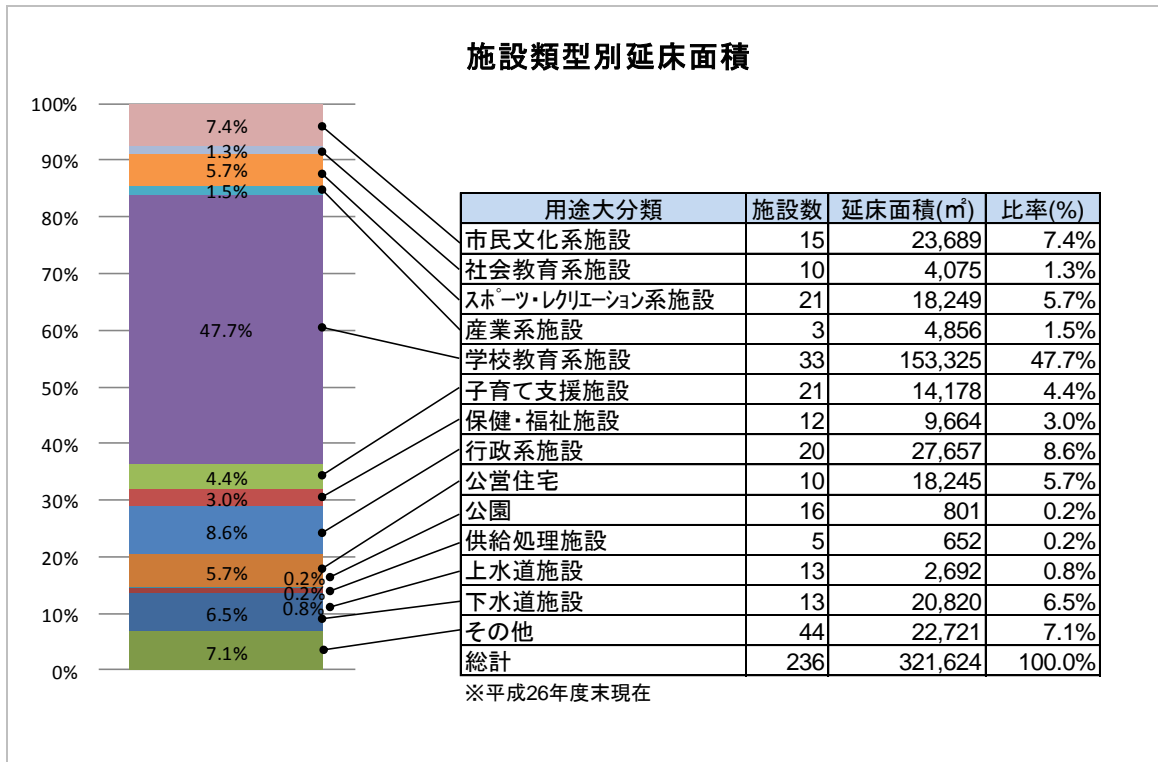
本計画では、市有財産のうち以下に示す公共施設及びインフラ資産を対象とします。

区分	大分類	中分類	主な施設
公共施設	市民文化系施設	集会施設	佐原中央公民館、山田公民館、みずほふれあいセンター等
		文化施設	佐原文化会館、小見川市民センター(多目的ホール)、山田公民館(ホール)
	社会教育施設	図書館	香取市佐原中央図書館、小見川市民センター(図書館)、山田公民館(図書室)、栗源市民センター(図書室)
		博物館等	伊能忠敬記念館、佐原三菱館、水郷佐原山車会館、まほろばの里案内所等
	スポーツ、レクリエーション系施設	スポーツ施設	香取市民体育館、小見川スポーツ・コミュニティセンター、小見川・山田・栗源B & G海洋センター等
		レクリエーション施設・観光施設	水郷佐原水生植物園、クライנגアルテン栗源、佐原町並み交流館、紅小町の郷ふれあい農園等
	産業系施設	産業系施設	道の駅・川の駅水の郷さわら、道の駅くりもと紅小町の郷
	学校教育系施設	学校	小学校、中学校
		その他教育施設	学校給食センター、旧佐原学校給食センター等
	子育て支援施設	幼保、こども園	幼稚園、保育所
		幼児、児童施設	放課後児童クラブ
	保健、福祉施設	高齢福祉施設	養護老人ホームひまわり苑、デイサービスセンター(ひまわり苑、なのはな苑)、シニア健康プラザ
		障害福祉施設	地域活動支援センター(あけぼの園、第二あけぼの園、おみがわ)、旧高萩小学校
		保健施設	佐原保健センター、小見川市民センター(保健センター)
		その他社会保険施設	小見川社会福祉センター
	行政系施設	庁舎等	香取市役所、小見川市民センター(支所)、山田支所、栗源市民センター(支所)
		消防施設	消防機庫
		その他行政系施設	佐原清掃事務所、各大気汚染測定局、各水防庫、各小学校内防災倉庫等
	公営住宅	公営住宅	片野団地、粉名口団地、五郷内第一住宅、五郷内第二住宅、向堆住宅、大戸団地、日下部住宅、羽根川旧町営住宅、粉名口共同住宅、岩ヶ崎住宅
	公園	公園	小見川城山公園、橘ふれあい公園、栗山川ふれあいの里公園、大クス展望公園、大岸児童遊園等
供給処理施設	供給処理施設	小見排水機場、新開町排水機場、大割排水機場、八筋川排水機場	
その他施設	その他施設	佐原駅北口自転車駐車場、おみがわ聖苑、山田市民バス車庫、埋蔵文化財整理室、各公衆便所等	
インフラ資産	道路、河川(水路)	道路、橋梁、河川	市道、橋梁、河川(水路)
	上下水道	上水道	各取水場、浄水場、ポンプ場、上水道管路等
		下水道	佐原浄化センター、小見川浄化センター、与倉汚水処理施設、各農業集落排水処理施設、下水道管路等

2. 公共施設等の現況及び将来の見通し

1) 公共施設等の状況

本市の公共施設は 236 施設、延べ面積の合計は約 32 万㎡です。施設類型別にみると、学校教育系施設が半数近くを占め、次いで行政系施設が約 9%を占めています。建築年度別にみると、昭和 40 年代から昭和 60 年代までの間に多くの公共施設が整備されています。建築後 30 年を経過した施設が約 51%を占める状況にあり、10 年後にはその割合が約 78%になります。



本市が管理しているインフラ資産は、市道が一般道路と自転車歩行者道をあわせて約 1,373km、橋梁が 422 橋、上水道が管理延長で約 586km、下水道が管路延長で約 203km となっています。これら構築物のなかには、建設後 50 年以上を経過しているものもあり、老朽化が顕著です。

分類		数量等
市道	一般道路	実延長：約 1,368 km、道路部面積：約 653.8 万㎡
	自転車歩行者道	実延長：約 5 km、道路部面積：約 2.8 万㎡
橋梁		422 橋、面積約 2.4 万㎡
上水道		管路延長：約 586 km
下水道		管路延長：約 203 km

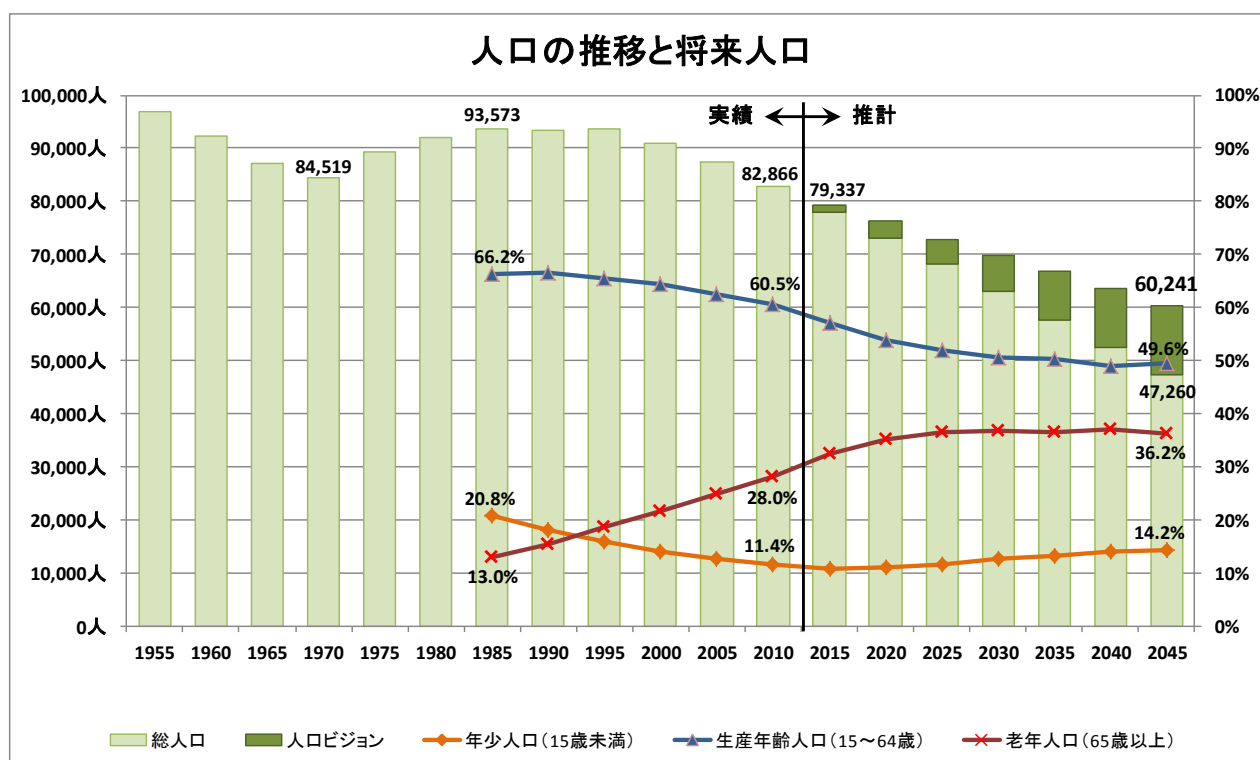
2) 総人口や年代別人口についての今後の見通し

本市の人口は、1970 年（昭和 45 年）84,519 人以降増加を続けてきましたが、1985 年（昭和 60 年）93,573 人以降は減少に転じ、2000 年（平成 22 年）の国勢調査では 82,866 人と、近年は減少傾向が加速しています。

現在の状況のまま推移した場合、今後はさらに減少傾向を続け、30 年後の 2045 年（平成 57 年）には 47,260 人と、2000 年（平成 22 年）の 57% 程度まで落ち込むことが見込まれています。

一方では、香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく「香取市人口ビジョン」では、合計特殊出生率の上昇及び政策誘導による人口減少の改善を考慮し、2045 年（平成 57 年）では 60,241 人を目指すとしています。

年齢別の割合をみると、年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15～64 歳）が減少傾向にある一方、老年人口（65 歳以上）は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。今後もこの傾向が続くものと推測されますが、2045 年（平成 57 年）の老年人口の割合は 35% 前後を見込んでいます。

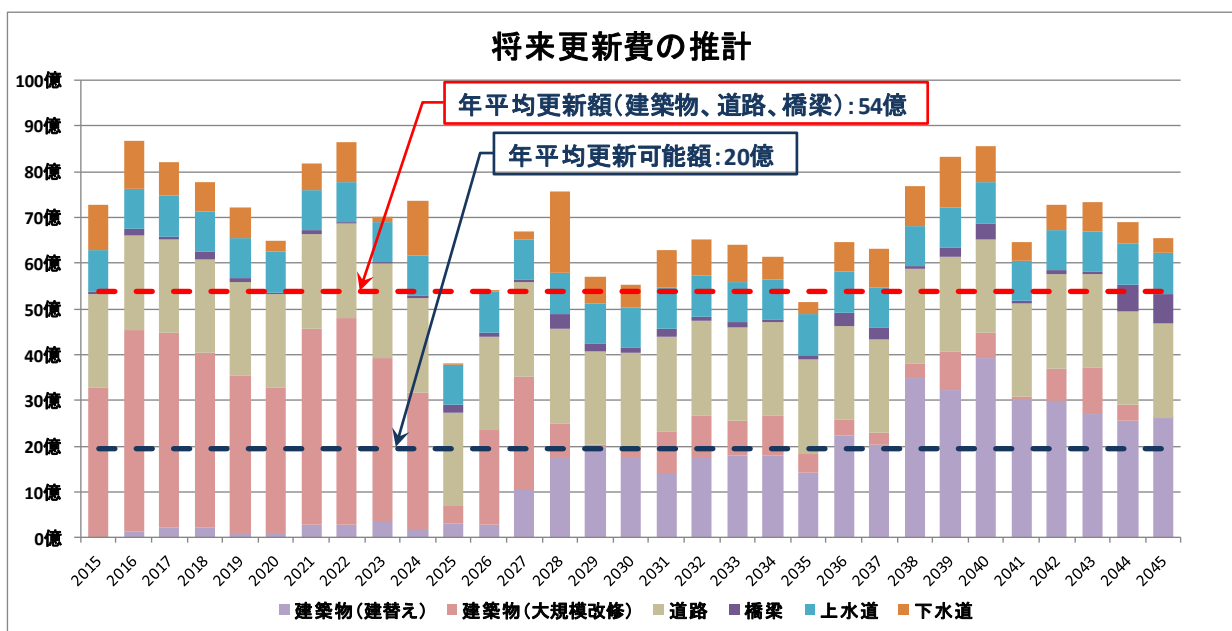


3) 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等

現在保有している施設（一般会計の建築物）を現在の規模のまま定期的に建替えを実施した場合、2045年までに総額約459億円、年平均にすると約15億円の費用が掛かることが推測されます。さらに建替え時の半分まで経過した際に大規模改修も行うこととした場合は、総額で約980億円、年平均では約32億円の費用となります。建築物の建替えは概ね10年後から30年後まで続き、大規模改修は築30年以上経過した建築物が多いことから、向こう10年間にピークを迎えます。

また、道路、橋梁、上下水道のインフラ資産は、2045年(平成57年)までに総額約1,159億円、年平均では約37億円の更新費になると見込まれます。

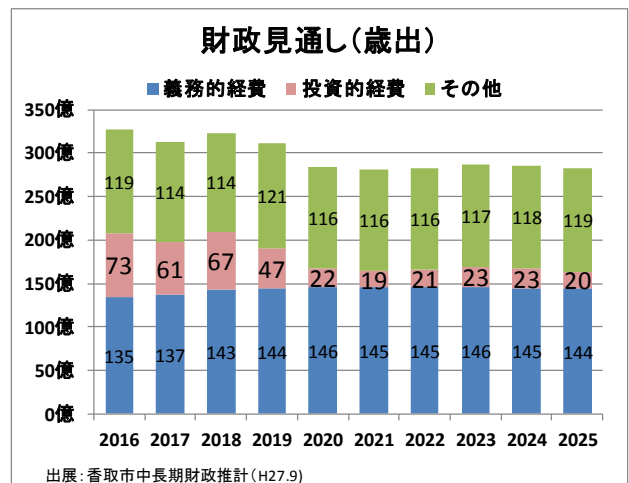
一方、本市の財政状況から、将来の投資的経費は20億円程度と推測されており、建築物、道路、橋梁に掛かる更新費は約54億円となり、概ね3倍に相当します。



資産種別将来更新費の算出(2015年～2045年)

単位: 億円

区分 資産の種類	2045年までの更新費			
	総額	年平均	うち上下水道資産以外	
			総額	年平均
建築物 (適時大規模改修)	521	17	521	17
建築物 (適時建替え)	459	15	459	15
建築物 小計	980	32	980	32
道路	637	21	637	21
橋梁	48	2	48	2
上水道	275	9		
下水道	200	6		
インフラ資産 小計	1,159	37	685	22
計	2,139	69	1,665	54



出展: 香取市中長期財政推計(H27.9)

3. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

1) 計画期間

本計画の計画期間は、2016 度から 2045 年度までの 30 年間とします。本計画は、10 年を単位に見直すことを基本とし、市の財政状況や制度変更等、必要に応じて適宜見直しを行い、上位計画である香取市総合計画や財政見通し等への反映を行うこととします。

2) 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

- ・持続可能な公共施設マネジメントの確立に向け、行財政改革、政策立案、財産管理の各所管課と各施設所管課が連携すると共に、全庁的な推進体制を構築します。
- ・公共施設に関する情報は、施設カルテを継続的に活用し、維持管理費用や利用状況などは定期的に情報の更新に努めながら、庁内での情報共有を図ります。

3) 現状や課題に関する基本認識

【現状と課題】

- ・本市は、合併前の旧市町でそれぞれ保有していた公共施設等をそのまま継続して保有してきたことから、公共施設の人口一人当たり保有量は 3.8 m²/人と、多くの資産を保有しています（県内平均は 3.1 m²/人）。
- ・旧佐原市、旧小見川町、旧山田町、旧栗源町はそれぞれ地域拠点を形成しており、広大な市域を相互に結ぶインフラ資産も多くの量を保有しています。

【基本認識】

- ・人口減少と少子高齢化に伴い税収減や扶助費等の義務的経費の増大が見込まれるなか、市民ニーズの変化や適正な施設規模を充分見極める必要があります。
- ・地域拠点の形成を維持しつつ、各地域に必要な機能の見直しを行い、施設の規模縮小を基本としながら総量縮減を図る必要があります。
- ・小中学校の廃校や空き教室のほか、未利用施設もみられることから、これら施設の転用利用を積極的に行い、余剰となった施設の廃止及び除却を進めていく必要があります。
- ・各施設の更新時には、他の施設との複合化や多機能化を進めます。
- ・市全体の公共施設等の最適化を実効性のあるものとするため、各施設の更新や統廃合等の実行計画を立案するとともに、全庁的な取組み体制を構築し、計画的な維持更新を進めていくことが必要です。

4) 数値目標の設定

上記に示す公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針に基づき、かつ、地方公会計の固定資産台帳を活用するなど、今後の市財政動向及び社会環境の変化に対応した公共施設の適正管理を目指します。具体的には、行政サービスの水準を落とさずに、施設の総量縮減を行うため、これからの人口推移に着目し、2015 年 79,337 人から 2045 年 60,241 人へ推計した香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略「人口ビジョン」に見合った公共施設の保有量とします。2016 年度から 2045 年度までの 30 年間で、公共施設総延床面積を 25%縮減します。

4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

1) 調査及び点検等の実施方針

- ・今後も利用が見込まれる施設については、法定点検のほか、任意の調査及び点検を実施していきます。
- ・調査及び点検した結果は、本計画の見直しに反映できるよう、データを集約、蓄積、一元管理する仕組みの構築を検討します。
- ・インフラ資産は、既存の長寿命化計画や国の技術基準等に準拠して、適正に調査及び点検を実施します。

2) 維持管理、修繕及び更新等の実施方針

- ・不具合が発生してから修繕を行う事後保全から、不具合を未然に防止するために計画を立てて保全を行う予防保全への転換を進めます。
- ・予防保全は、推奨された周期で更新及び修繕を行う「時間計画保全」ではなく、劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を行う「状態監視保全」への取組みを検討していきます。
- ・PPP/PFIの導入や民間事業者、地域住民との連携も視野に入れながら、効率的な施設運営や行政サービスの維持及び向上を図ります。
- ・公共施設等の更新の際には、利用者の動向や市民ニーズ、周辺の類似施設の状況等を踏まえて施設規模の縮減を充分検討し、総量縮減を図ります。
- ・政策的な判断等により更新を行う際には、ライフサイクルコストや適正な利用者負担等、更新に伴い必要となる全ての費用を総合的に比較、検討します。

3) 安全確保の実施方針

- ・施設利用者の安全確保を最優先として各種対策に取り組みます。
- ・点検診断等の結果から異常が認められる施設については、早期に修繕、改修などの対策を講じるものとします。
- ・災害時の安全性確保の観点から、インフラ資産の点検診断を進め予防保全に努めます。

4) 耐震化の実施方針

- ・災害時のライフラインの確保及び避難場所としての機能確保を最優先として、耐震化に取り組みます。
- ・耐震改修の実施の際には、ライフサイクルコストを考慮した経済的有益性の検討により、長寿命化につながる改修を併せて実施します。

5) 長寿命化の実施方針

- ・公共建築物の目標耐用年数として、法定耐用年数の20%延長を目標とし、必要な各種施策を推進していきます。
- ・施設の長寿命化の実施にあたっては、事業の実施によりライフサイクルコストの縮減が見込めるかを検討します。

- ・既に長寿命化計画が策定されている施設については、当該計画の内容を踏まえ、本計画に準じて長寿命化を推進していきます。
- ・今後、大規模改修の時期を迎える施設は、長寿命化を併せて実施することを検討し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

6) 統合や廃止の推進方針

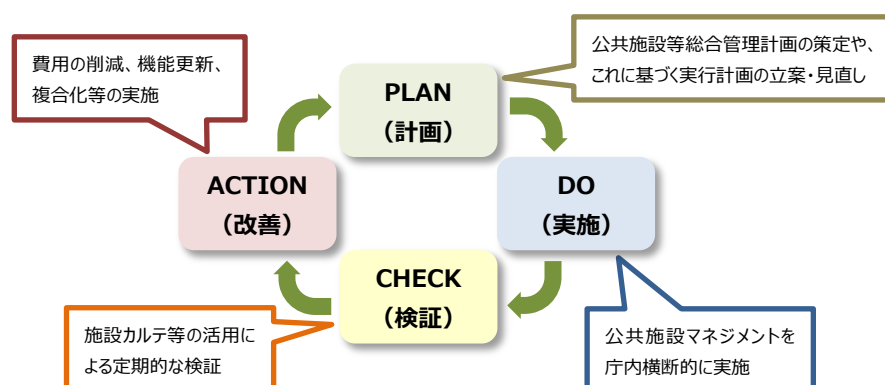
- ・公共施設等の更新にあたっては、他目的の公共施設や民間施設の利用等を視野に入れた統廃合を検討します。
- ・用途廃止や統合等により余剰となる施設が生じる際は、民間等への売却の可能性を検討します。
- ・インフラ資産については、施設の長寿命化と耐震補強を基本とし、社会・経済情勢や市民ニーズを踏まえ、必要に応じて適正な供給を図ります。

7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ・公共施設等の更新や統廃合の事業化の際に、その利活用方針や優先順位の決定について、部門横断的な組織体において協議、決定する仕組みを構築します。
- ・公共施設等のマネジメントを推進するための専門部署の設立の必要性を検討します。
- ・個々の施設の長寿命化や適切な維持保全を推進します。
- ・職員ひとりひとりが公共施設等の現状や経営的視点に立った総量適正化、維持管理への理解を深めるため、研修会の開催等により庁内の公共施設マネジメント意識の共有を図ります。

5. フォローアップの実施方針

- ・Plan（公共施設等総合管理計画の策定やこれに基づく実行計画の立案・見直し）、Do（公共施設マネジメントを庁内横断的に実施）、Check（施設カルテ等の活用による定期的な検証）、Action（費用の削減、機能更新、複合化等の実施）を一連の流れとして、PDCAサイクルを回しながら適切な進行管理を行います。
- ・本計画で定めた方針等については随時見直しを行い、香取市総合計画の実実施計画へ反映させていただきます。
- ・広報やパブリックコメントによる周知、市民アンケートの意見集約を積極的に活用するとともに、本計画に基づく個々の施設の更新にあたっては、市民への情報共有をします。



6. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

施設類型	基本的な方針
【市民文化系施設】	
集会施設	<ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きい集会施設は、予防保全や計画的な長寿命化 ・地域の集会施設は、地元等への移管の可能性の検討と、学校施設等の転用利用に伴う廃止の検討
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・支所機能等との複合化、多機能化を踏まえた更新の推進 ・多様なサービス提供による利用者増加や予防保全による運営コスト軽減
【社会教育系施設】	
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度や一括管理等の民間活力導入を含めた効率的、効果的な管理、運営方法の検討 ・老朽化が顕著な施設の修繕、改修の実施 ・他の施設との複合化や複数施設への機能分散の検討
博物館等	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入による施設運営コスト軽減の検討 ・歴史文化の保存と活用による効果的な施設運営
【スポーツ、レクリエーション系施設】	
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は災害時の避難場所としての機能も考慮した計画的な修繕、改修による長寿命化 ・利用状況や需要の変化を踏まえた、必要性の検討と総量の抑制
レクリエーション系施設、観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ・機能維持を目的とした修繕の実施 ・管理運営方法の見直しによる利用者の増加や施設運営コストの軽減 ・徴収料金の検討による受益者負担の適正化
【産業系施設】	
産業系施設	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全や計画的な長寿命化 ・管理運営方法の見直しによる利用者の増加や施設運営コストの軽減 ・災害時の避難場所としての利用など、多機能化の検討
【学校教育系施設】	
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な児童数、生徒数の動向を考慮した統廃合や複合化の検討 ・余裕教室の活用等による地域コミュニティや災害時の避難場所としての多機能化 ・長寿命化と予防保全による施設運営コスト軽減
学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕、改修による長寿命化 ・施設の有効活用による多機能化の検討
【子育て支援施設】	
幼保、こども園	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入や民営化等による施設運営コスト軽減を検討 ・将来的な統廃合や民間施設の利用の検討
幼児、児童施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の空き教室等、他施設の転用利用による活動空間の確保 ・指定管理者制度の導入や民営化等による施設運営コスト軽減を検討

【保健・福祉施設】	
高齢福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営方法の見直しによる施設運営コストの軽減 ・民間参入を考慮した貸付や譲渡の検討
障害福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設との活動空間の共有等による効率的な施設利用の検討 ・民間参入を考慮した貸付や譲渡の検討
保健施設	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設の転用利用による複合化の検討 ・計画的な修繕、改修による長寿命化
その他社会保険施設	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕、改修による長寿命化
【行政系施設】	
庁舎等	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全や計画的な長寿命化 ・防災拠点としての機能を考慮した安全性の確保 ・保健施設等との複合化を考慮した適正規模の検討
消防施設	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕による長寿命化
その他行政系施設	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度や一括管理等の民間活力導入を含めた効率的、効果的な管理、運営方法の検討 ・計画的な維持管理による供用期間の延命
【公営住宅】	
公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・機能維持を目的とした修繕の実施 ・経済情勢や住宅事情等による需要の変化を捉えた必要戸数を検討 ・更新が必要な場合は PPP/PFI 等の民間資本の活用を検討
【公園】	
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内集会所の多様な活用と計画的な修繕、改修による長寿命化 ・市民等との協働による維持管理方策の検討
【供給処理施設】	
供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕、改修による長寿命化 ・民営化、広域事務への移行の検討
【道路、橋梁】	
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・優先度評価による計画的な維持管理、修繕、更新等の実施
橋梁	<ul style="list-style-type: none"> ・「橋梁長寿命化修繕計画」との整合を図り、必要に応じて適宜見直し ・計画的かつ予防的な修繕、維持管理による長寿命化
【上下水道】	
上水道施設	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金の適正化の検討 ・老朽化施設の計画的な更新や老朽管の布設替え
下水道施設	<ul style="list-style-type: none"> ・管路の耐震化や浸水対策事業による災害防止 ・老朽化施設の計画的な更新とコンパクト化などによるコスト縮減
【その他】	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕、改修による長寿命化 ・貸付や売却等による普通財産の有効活用

香取市公共施設等総合管理計画【概要版】

平成28年1月

発行：千葉県香取市

〒287-8501 千葉県香取市佐原口 2127 番地

電話：0478-50-1207

編集：総務企画部財政課